

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）令和6年12月現在

○事業所名	放課後等デイサービスほっぷ・すてっぷ		
○保護者評価実施期間	2024年12月11日 ～ 2024年12月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2024年12月11日 ～ 2024年12月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・状況やニーズに応じて、個別で関わるシーンやスタッフや保護者を交えた小集団の活動を柔軟に展開する事が可能である。	・遊びや活動の中で、課題を細かく見極め、各スタッフが連携しながら支援を行う。	・引き続き、保護者や利用児童本人のニーズの確認や、困りごとについての相談等を引き続き、丁寧に行い、それに伴う情報共有をスタッフ間でこまめに行う。
2	・保護者の方に見学して頂きながら支援を行うことで、その都度、必要に応じて支援の説明や相談を受ける事が出来る。また、保護者と本人のニーズのすり合わせが行える。	・保護者からの質問に丁寧に答えるのはもちろんの事、活動や、遊びの場面でのスタッフの関わりについて、関わりの意図等をその場で説明を行う。 ・その日、その場の保護者との話から課題を見立てて実践し、どのような支援が有効が見てもらえるようにする。	・引き続き、保護者と本人のニーズに合わせて、支援の組み立てを行い、相談に対して丁寧に対応する。
3	・基本的に個別での利用である為、より柔軟に個々の課題に合わせ活動の内容を調整する事が可能である。場面に合わせてその時に必要な支援が行える。	・場面によって柔軟に対応を変化させ、利用児が伸び伸びと過ごしながら、課題に挑戦出来るようにする。	・利用時の様子や、保護者や本人からの話を振り返り、日々より良い支援に向けて、活動の内容の細分化を行い、調整がより行いやすいようにしていく。 ・課題達成の為のプロセスを更に研究し、必要な人的、物的環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・現在、小学校等の長期休暇中には、個別対応の児童発達支援サービスが利用できない状況となっている。	・当事業所は多機能型事業所であり、また、支援室の区切りも無く1室でサービスを行っている為、放課後等デイサービスとのサービスを同時に展開しにくい状況に繋がっている。	・保護者や本人との相談を元に、利用の仕方を調整し、放課後等デイサービスの時間での短時間利用等を視野に入れていく。
2	・現在、児童発達支援のサービスは、基本的に一組ずつの利用を行っており、複数の利用者が同時にサービスを受ける事が出来ない状況となっている。	・サービスの際に、保護者の見学を希望される事や、利用人数との兼ね合いにより、複数人同時の利用が難しくなっている。 ・個別対応と複数対応、保護者同伴等、それぞれのニーズごとの調整、すり合わせが困難である。	・利用人数の把握はもちろんの事、保護者のニーズを聞き取りつつ、相談し、より良いサービスへと繋げる。 ・複数人同時利用のニーズの確認、調整を行う。
3	・現在、主な活動場所は施設内であり、屋外への外出や、イベントの実施は行っていない状況である。	・施設外に私有地としての広場等を所有しておらず、天候に左右される面もあり、屋外への外出を予定しにくくなっている。	・屋内での活動のバリエーションを広げ、活動に飽きが来ないように工夫し、引き続き、安全面に気を付けて身体を十分に動かせるように、環境設定を行う。 ・課題に対し、必要と判断した場合は屋外での活動も検討していく。